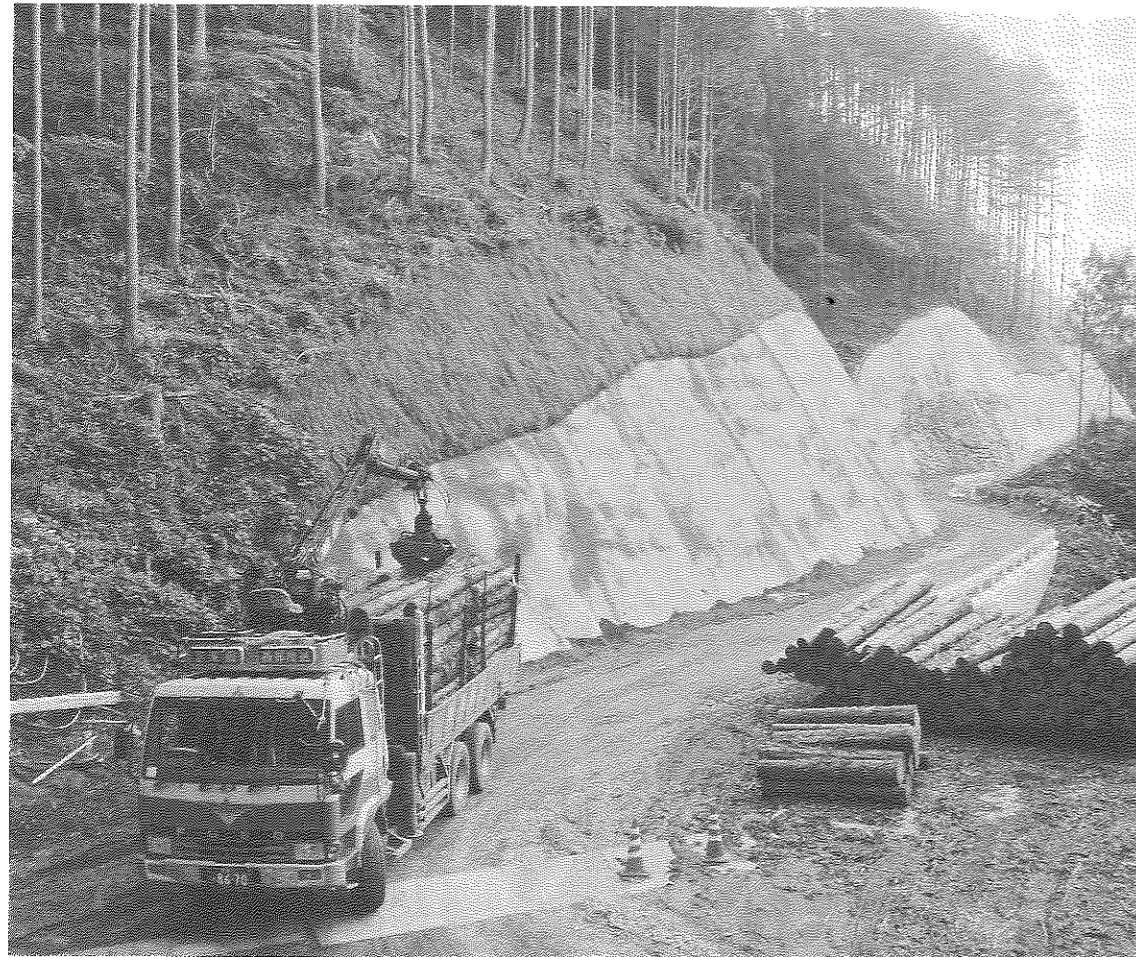


林業ぐんま

平成27年度森林土木写真コンクール(題名 道さえあれば) 林道吾嬬山線



総合建設業 土屋建設株式会社

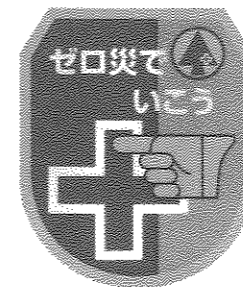
代表取締役 土屋 博
安中市松井田町五料1634-1
☎(027)395-2923 FAX 395-3844

仲 宮崎工務店株式会社

代表取締役 宮崎 通

本社 〒377-0932 群馬県吾妻郡東吾妻町大字萩生1729-2
TEL. 0279-69-2021(代) FAX. 0279-69-3763
川戸事務所 〒377-0802 群馬県吾妻郡東吾妻町大字川戸569-1
TEL. 0279-68-3850 FAX. 0279-68-3861

危険予知 目配り気配り ゼロ災害

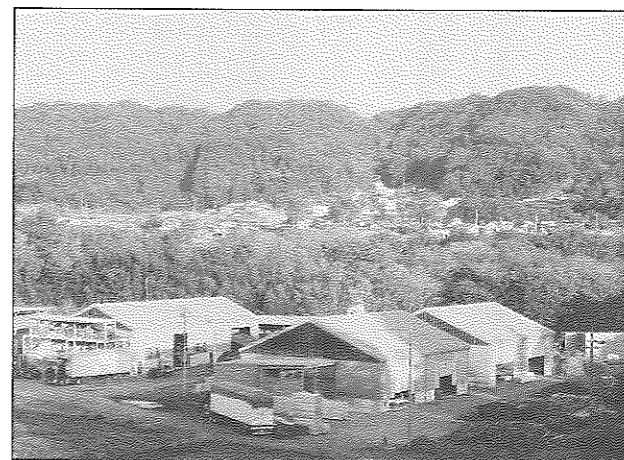


林業・木材製造業労働災害防止協会群馬県支部

〒379-2131 前橋市西善町524-1

電話: 027-266-8220

<http://gunma-wood.com>



関東一の林業県を目指して!
渋川県産材センターから林業再生!!

Jforest 群馬県森林組合連合会
代表理事会長 八木原 勇治

本所 前橋市上大島町182-20 ☎(027)261-0615(代)
渋川県産材センター
渋川市白井乙佐又1236-4 ☎(0279)22-5000(代)

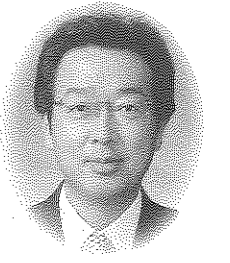
目次

会長・環境森林部長新年挨拶	1
林政情報	2
平成二十七年群馬県建設工事表彰 各地のたより	3
(渋川) 高年生のための林業現場見学会	3
(西部) 企業ボランティアによる森林整備 (藤岡) 神流川森林組合の	3
新たな取り組み	3
(富岡) きのこの安全・安心の確保	3
(吾妻) 高山村で企業参加の森林づくり (利根沼田) 利根沼田地区環境と	3
森と木のまつり	3
(桐生) わたらせ森と木のまつり 地域を担う人	7
杉木 守三さん 星野 泰男さん 小川 政樹さん 笠原 雅昭さん	7
森の談話室	9
「地域材の活用と技術の伝承」	9
長野原町 林すみやきの里	9
普及コーナー	10
第40回群馬県児童生徒木工工作コンクール	10
第46回群馬県優良素材展示会	10
お知らせ	10
きのこ品評会	10
群馬県農林水産業関係機関成果発表会	10
トピックス	11
ぐんまの林業見学ツアー	11
農林業就職面接・相談会	11
森林・緑整備基金だより	11
分収林の利用関係について	11
森林・林業を支え、みどり豊かな 郷土群馬づくりに貢献する	15

平成二十八年一月一日 発行

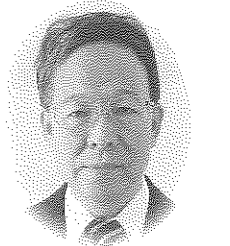
ひとりと新年おめでとう。今年から八月十一日が「山の日」として国民の祝日となりました。「山に親しむ機会を得て、山の恩恵に感謝する日」とされています。実現までの関係者のご尽力に敬意を表しますとともに、山からの恩恵が山村の活性化につながることを願っています。(K.A)

林政情報



群馬県林業改良普及協会会長
新井 雅博

謹賀
新年



群馬県環境森林部長
青木 勝

新年明けましておめでとうございます。会員の皆様には輝かしい新年をお迎えのことと心よりお慶び申し上げます。

皆様には、常日頃から当協会の運営につきまして、格別なるご支援ご協力を賜り衷心より感謝申し上げますとともに、厚くお礼申し上げます。

私は、昨年五月の総会で、歴史と伝統ある当協会の会長に選任されました。県土の三分の二を占め、多くの公益的機能を發揮し続ける森林をこれからも大切に守っていく責任を強く感じています。

かつて森林は、林業経営という営みの中で、森林所有者の経済活動としての保育作業等によって、さまざまな機能が維持されてきました。しかし、昨今、森林の多くが収穫期を迎えているにもかかわらず、木材価格は再生産可能な価格には至っておらず、林業経営活動は低迷を続けており、森林を健全に維持するためには、国や県の助成策に頼らざるを得ないのが現状です。

このような中、県では森林面積だけでなく、林業生産活動も関東で一番なるべく「森林県から林業県へ」を合言葉に、素材生産量年間四十万立米を目標に各種の取り組みを前倒しに進めており、当協会としても林業普及指導事業を中心に積極的な協力を進めてまいります。

一昨年四月から「ぐんま緑の県民税」がスタートし、奥山の整備なども進められております。また、県内に木質バイオマス発電所建設の計画も進んでおり、新たな木材需要の創出が期待されます。これらの追い風を契機に、「伐採」、「植林」、「保育」という林業の当たり前のサイクルが戻り、山から若者の声や機械の音が絶えず、山村地域に活力が戻ることを期待してやみません。

結びに、会員並びにご家族の皆様のご健勝で活躍されますようご祈念申し上げ、新年にあたってのあいさつとさせていただきます。

平成27年度 群馬県建設工事表彰

群馬県建設工事表彰は、県民の生活及び経済活動等の基盤となる社会資本整備を適切に推進するため、県が発注した建設工事等について優秀な技術により施工した建設業者等を表彰し、品質の高い工事を確保するとともに、建設業等の発展及び施工技術の向上に資することを目的として、毎年、知事表彰、部長表彰、所長表彰を行っています。

環境森林部発注工事に係る平成二十七年年度の表彰工事は、二十六年度に完成した契約金額五〇〇万円以上の対象工事三百五件の中から、それぞれ品質管理・出来形・出来映え等の審査基準により、各審査会で厳正な審査が行われ、知事表彰三件が九月十一日、部長表彰八件が十一月十三日、所長表彰七十四件は各発注事務所の表彰式で受賞の荣誉に輝きました。

受賞された皆様におかれましては、心よりお祝い申し上げますとともに、今後益々の御研鑽を祈念申し上げます。

(森林保全課)



②知事表彰 利根郡昭和村生越(梨木平上流)地内



①知事表彰 北群馬郡榛東村山子田(峰林)地内

平成27年度 群馬県建設工事表彰一覧表(知事・部長表彰)

1 知事表彰 3箇所 3社				
施工者	技術者名	事務所名	写真番号	
勝野建設 勝野 政和	狩野 涼	洪 川	①	
石坂建設 諸田 光二	茂野 義則	利根沼田	②	
金子建設 金子 和利	金子 晴三	桐 生	③	

2 部長表彰 8箇所 8社				
施工者	技術者名	事務所名		
田子林業 田子 元幹	田中 久土	洪 川		
勝野建設 勝野 政和	狩野 涼	洪 川		
萩原工業 萩原 哲也	石井 雅人	西部		
高橋建設 高橋 鎮男	小川 誠四郎	西部		
神戸土木 神戸 康宏	小金沢 金二	富岡		
南波建設 南波 久美子	篠原 憲一	吾妻		
高特 設楽 雅之	新木 康弘	利根沼田		
新井土木 新井 正則	大塚 孝二	桐 生		



③知事表彰 みどり市東町座間(大久保)地内

新年あけましておめでとうございます。群馬県林業改良普及協会の皆様には、本年が幸多き年となりますよう心からお祈り申し上げます。

昨年は「上野三碑」がユネスコの世界記憶遺産の国内候補に選定され、「かかあ天下」ぐんまの絹物語」が日本遺産に認定されるなど、本県の歴史遺産の価値が認められました。また「群馬県民マラソン」で初めてフルマラソンが行われました。県内外から多数のランナーに参加していただき、大いに盛り上がりつつ本県のイメージアップにつながりました。一方、草津白根山や浅間山の火山活動が活発化したり、伊勢崎市では突風により家屋が倒壊するなどの自然災害を受けた年でもありました。

県では人口減少社会を踏まえて、本年4月からの政策の指針をまとめた次期「総合計画」を作成しており、呼応して、「森林・林業基本計画」の中間見直しを行っているところです。県土の三分の二が森林である本県において、豊富な森林資源を最大限に活用し、林業・木材産業の基盤を整備するとともに人材を育成し、中山間地域の産業として発展させていくことが求められています。そのために「森林県」から「林業県」への飛躍に向けた取り組みを1年前倒しし、更に加速して参ります。

また、きのこ産業は福島第一原子力発電所の事故による放射性物質の影響や昨年2月の大雪による生産施設の倒壊により甚大な被害を受けました。生産者の皆様の再建に向けた取り組みによって生産量は下げ止まりの傾向にあります。難局にあっても安全・安心なきのこの生産に取り組んでいただいた生産者の方々に敬意を表します。一方、しいたけの菌床製造施設が新たに安中市に整備されるなど、増産に向けた取り組みも行われております。県としてもきのこ産業の再興に向けて全力で取り組んで参りますので、関係者の皆様のご協力をお願いいたします。

本年も市町村や関係団体の皆様と連携し、本県の林業・木材産業、そしてきのこ産業の発展のために努力して参りますので、皆様のご理解とご協力をよろしくお願い致します。

結びに、皆様のご活躍とご健勝を祈念申し上げます、新年の挨拶とさせていただきます。

各地の便り

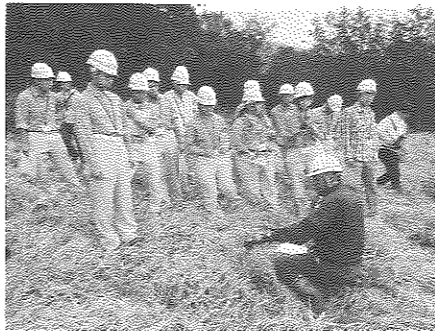
高校生のための林業現場見学会を開催

近年、林業従事者の高齢化や素材生産事業の拡大により、林業現場での人手不足が大きな問題となっています。

県では、「森林・林業基本計画」において、素材生産量の増加と林業従事者の確保を目標としており、新規就業者の参入が強く求められています。

このような状況のなかで、県内の高校生に対し、実際の林業や製材業の現場を見学することで林業現場の実態を知ってもらうとともに、林業の魅力を感じてもらい、新規参入につなげるため、林業現場の見学会を実施しました。

当日は、五つの高校から十四人の高校生と引率の先生二名が参加しました。

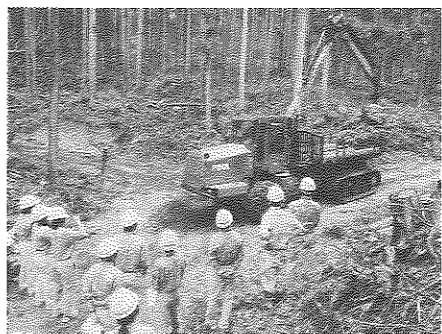


木を育て、伐採し、製材品になるまでの行程を見学する内容で、保育現場は赤城南麓森林組合の下草刈りと、ぐんま緑の県民基金事業で実施したヒノキ

植栽と獣害防止柵施工地です。地道な作業が森を育み、豊かな森林により水環境の保全や温暖化防止などの恩恵を受けていると実感したようでした。

洪川広域森林組合の林産現場では、正確で素早いチェーンソー作業や、高性能林業機械による採材や運搬作業に見入っていました。木

こりのイメージとは違う、近代化した林業現場の迫力に感心しているようでした。



洪川県産材センターでは、自動選木から製材までの一連の作業と、端材や低質材を製紙用チップに加工する行程を見学しました。

参加した高校生からは、林業について興味がわいた、機械の迫力に驚いたなどの声があり、将来林業関係の職に就きたいという、うれしい答えもありました。

このような機会をたびたび設けてもらいたい、体験型なども興味があるという貴重な意見があり、新規参入者を求める県としても、まだまだ出来ることがあると感じました。

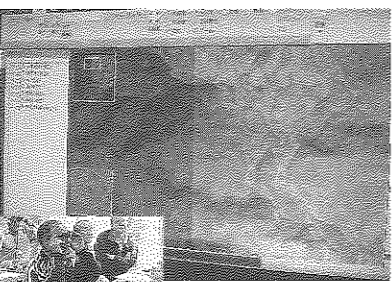
(洪川森林事務所通信員)

神流川森林組合の新たな取り組み「もりつたい」の導入に向けて

神流川森林組合は、早くからGPS、GIS、レーザーコンパス等を導入し、森林所有者の立会のもと境界明確化を行っています。これまでに、町内民有林面積の約30%が完了しました。

当森林組合では境界明確化を更に効率よく推進するため、日本森林技術協会が開発した「もりつたい」の導入を進めています。

「もりつたい」とは、空中写真の3D映像化をパソコンモニターやプロジェクトで行うものです。樹高計測機能により林分材積を



推定することがきるほか、3D映像をズームインすることによって従来のオルソフォトよりも、樹



映像(3Dでお見せできないのが残念)と、3Dメガネをかけた参加者

企業ボランティアによる森林整備

この秋、企業ボランティアによる森林整備が当事務所管内で実施されたので紹介いたします。まず、榛名県有林内「エイチワンの森」を会場に10月25日(日)に実施された、㈱エイチワン前橋製作所社員による草刈り、除伐、枝打ち作業です。当日は、晴天に恵まれ社員約55人の参加がありました。皆さん和気あいあいと作業に励み良い汗を流していました。10月31日(土)には、監査法人トーマツの社員と家族ら約45人が高崎市吉井町上奥平の山林「トーマツの森」で竹や樹木の伐採、下草刈りに汗を流しました。



森林整備に参加したエイチワン社員の皆さん(作業前の様子)

同じく10月31日(土)に、太陽誘電㈱の関係者17人が高崎市中室田町「太陽の森」で草刈り作業を中心に森林整備を実施しました。さらに、11月19日(木)には、群馬県森林土木建設協会(高崎地区・安中地区)による下草刈り等の作業が約33人の参加を得て、高崎市寺尾町の城山住宅団地内で実施されました。この他11月3日(文化の日)には中央労働金庫職員による森林整備も高崎市中室田町「ろうさんの森」で実施されました。また、来年度から新たに森林整備に参加する企業も決定しており、益々盛んになっていると見えます。

(西部環境森林事務所通信員)

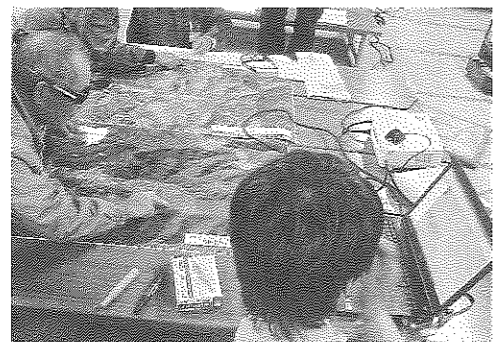


森林整備に参加した森林土木建設協会の皆さん(作業前に記念写真)

種、林相、樹高及び地形等の状態が効果的に判読できます。それにより、現地に行かなくてもある程度の森林調査が可能となり、境界の合意形成も効率的に進むことが期待できます。

去る十月三十一日に、開発者の日本森林技術協会をはじめ関係者を招き、森林所有者を対象とした「もりつたい」による境界判読の検討会が開かれました。

3Dメガネをかけてスクリーンを見ると森林が立体的に見えて参加者から驚きの声がありました。その後、境界をよく知る方が、スクリーンを見ながら判読し、空中写真上に境界線を書き入れる作業をしました。皆さん熱中されて、夜遅くまで作業が行われました。作業では様々な問題点も判明しましたが、「もっと早くこういうのがあったらねえ」と言う所有者さんの声が印象的でした。



(藤岡森林事務所通信員)

夜遅くまで境界線を書き入れる作業が続きました。

各地の便り

きのこの安全・安心の確保

東日本大震災による原子力発電所事故で放出された放射性物質の影響は、現在でも続いています。群馬県では、きのこの安全・安心と生産者の再建を支援するため、放射性物質を測定する検査機器を導入し、当事務所のほか群馬県林業試験場の2箇所です平成二十四年度から実施しています。

当事務所管内は、原木しいたけの生産者が多く、生産量は県内の約4割近くを占め、当地域の主要な農産物となっていることから、これまで2千件を超える検体の検査を実施してきました。

原木しいたけ生産では、「原木」及び出荷ロット毎に「ほだ木」と生産された「きのこ」を併せて検査しているため、きのこ生産者にとっては大きな負担となっていますが、消費者に対する安全・安心の確保がきのこ生産者の経営再建には最も近道であり、今後も県が行う検査の徹底に併せて生産指導していくことが重要であることから、引き続き生産者団体と連携しながら「安全なきのこづくり」に取り組んでいきます。

昨年度、群馬県は「すき焼き応援県」を宣言しました。「すき焼き」は名脇役である生しいたけのほか、上州和牛、下仁田ネギ、こ



対象は、「ぐんま天文台」下の高山村有林約3.5畝で、平成二十七年から平成二十九年の三年間、(株)林藤ハウジングが下刈りや除伐・枝打ち等を行い、地域の森林を守り育ててゆきます。

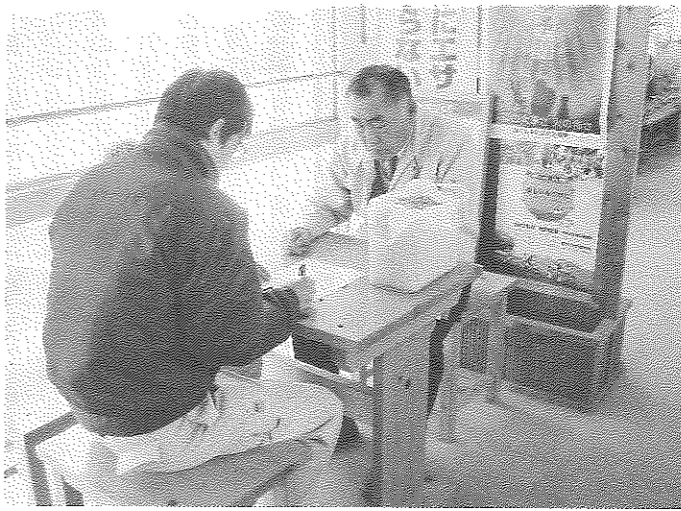
当日は、午前九時三十分「ぐんま天文台下の駐車場に、関係者二十八人、吾妻環境森林事務所から二人の、総勢三十人が集まりました。森林整備部長から、作業区域や手順の説明があり、参加者たちは、各に草刈機やチェーンソー・鉋等を持ち、刈り払いや除伐等の作業に入りました。

当日は、霜柱が立つほど冷え込みましたが、太陽が出てきて最高のコンディションの中、2時間半ほどの作業も順調に進み、藪も見違えるようになりました。

今後も活動が期待されます。

(吾妻環境森林事務所通信員)

んにやく、春菊など本県が誇る主要な農産物だけでまかなえる料理であり、「すき焼き」により県の魅力を全国に発信することとしました。



きのこ安全検査の受付

(富岡森林事務所通信員)

「利根沼田地区 環境と森と木のまつり」開催

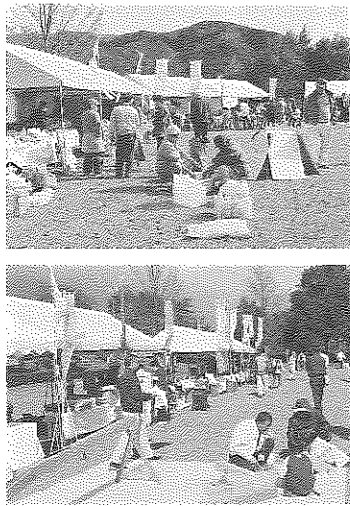
十一月三日文化の日、みなかみ町の矢瀬親水公園で「利根沼田地区 環境と森と木のまつり」が開催されました。

このまつりは、環境保全の大切さと、森林・林業の重要さを身近に感じてもらうようと、利根沼田管内の林業団体、環境保全団体等が組織する実行委員会が開催しました。

昨年までは、二十一世紀の森フェスティバルに併せて開催していましたが、今回は初の単独開催となり、十三団体が様々な出展ブースを設け、来場者をお待ちしました。

前日までは、冷たい雨が降るあいにくの天気でしたが、当日は晴れの特異日に当たっていたおかげか好天に恵まれ、多数の方の来場をいただく事ができました。

各ブースでは、森林クイズや木工工作、丸太切り・カンナ削体験、木の葉やペンダント



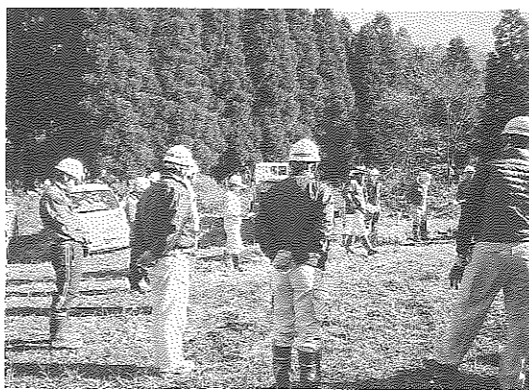
会場は来場者で盛況

高山村で企業参加の森林づくり

日本上空に寒気が入り天候が冬型になり寒さが近づいている平成二十七年十一月二十八日、(株)林藤ハウジングによる森林ボランティア活動が、高山村の「ぐんま天文台」下の村有林で行われました。

この活動は、「企業参加の森林づくり」の中で結ばれた、「森林整備等の活動に関する協定」に基づき行われました。

群馬県「企業参加の森林づくり」は、平成十七度から始まったもので、群馬県の仲介により、森林づくり活動を希望する企業と森林所有者の間で協定を結び、森林整備活動を行うものです。



(株)林藤ハウジングでは、平成二十年から「りんどうの森」と名付けて活動を行っており、今回の協定が三期目になります。



子供につられて大人も熱中

作りといった、子供達が気軽に木にふれ合えるコーナーを始め、環境コーナーでのミニ浄化槽の展示・実演や、コースター作り体験、ロケットストーブの実演等多彩なイベントに多くの親子の参加をいただきました。

来場者からは、「森の大切さを教えられた」「木のぬくもりを感じられた」等と大変好評でしたが、「子供には一寸難しい」「近付かないと何をしているか分からなかった」等の声も聞かれ、今後の課題ともなりました。



ぐんまちゃんはどこでも大人気

初の単独開催という事で、来場者数に不安な面もありましたが、大盛況のうちには終える事ができ、今後への弾みとなりました。

(利根沼田環境森林事務所通信員)

各地の便り

「わたらせ森と木のまつり」を開催

平成二十七年十一月二十九日(日)に桐生市稲荷町の新川公園で第十四回「わたらせ森と木のまつり」が開催されました。

このまつりは、地域の生産者団体が主体となり、消費者との交流を通して木材やきのこ等、地場産の林産物の普及啓発と販売促進活動を展開することにより、地域の森林・林業・木材・きのこ産業の活性化を図ることを目的とした「わたらせ森と木のまつり実行委員会」を設立して会合を重ね、毎年実施しています。

今年、みどり市の薪ストーブ愛好者等が集まり広葉樹を整備し、搬出した薪の活用や普及に努めている「わたらせ薪倶楽部」が新たに加わり、総勢十八団体による実施となりました。



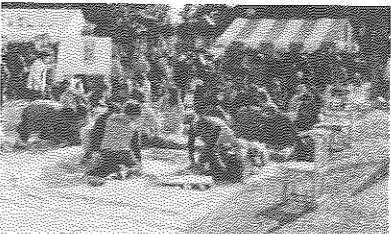
薪倶楽部による薪割

当日は、十一月の下旬とは思われない様な小春日和に恵まれ、朝からの青空の下、多くの家族連れや老若男女が「森からの贈り物」を求め会場を訪れました。各参加者は、きのこ汁や木工工作、リースづくりを楽しみ、まな板削りや包丁研ぎを依

頼したり、子供と一緒にの森林業クイズや間伐材等での工作や竹馬作りに汗を流し、森林の剥皮被害のパネルを見たりして各団体のテントがとでも賑わっていました。

今年のまつりのテーマは、「森からの贈り物を皆様にお届けします」とし、「秋の実り」としては、きのこ汁の試食やきのこなどの展示・即売、「森の恵みと遊び」としては、リースづくりや木工工作体験、間伐材へのお絵かき、チェーンソーの実演を楽しんでもらい、「森と木のめぐみ」としては、木製ベンチや花台・まな板や木炭等の即売をしました。

毎年開催されているこの「森と木のまつり」も地域に定着してきており、広報前から開催日や場所等の問い合わせがあり、「毎年楽しみにしています。」といった、うれしい声も聞かれました。



木工工作

今後も、森林・林業の関係者が協力して、森林を守り維持するための林業の大切さや森林と林業の良さを発信しながら、「森からの贈り物」として、所期の目的を達成するために継続した活動を行きたいと思えます。

(桐生森林事務所通信員)

株原澤林業

杉木 守三

一 趣味

アウトドア、音楽鑑賞

二 今後の抱負

林業という仕事に携わりまだ5年ほどですが、やればやるほど奥が深く感じます。季節・その日の天候・風向き・地形など全てにおいて同一の環境は無く、伐採・草刈り等、同じ木、同じ草は二度と出逢うことが無く、作業する上で毎回考えさせられます。その為、とてもやりがいのある仕事だと思っています。これからも怪我をしない、怪我をさせない様に、安全第一で林業という仕事に向き合っていきたいと思えます。



地域を担う人

利根沼田森林組合

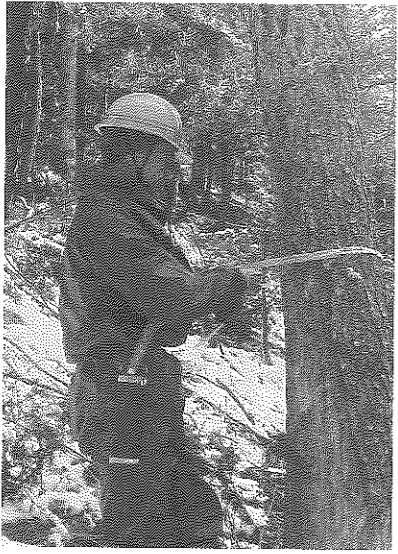
星野 泰男

一 趣味

カラオケ・ロードバイク・ゴルフ・スキー

二 今後の抱負

緑の雇用事業で三年間、色々な分野を勉強させてもらい本当に林業の素晴らしさを教えてもらいました。その中で特に高性能林業機械には本当に驚きました。自分は還暦を迎えてしまいましたが、これからの若い人達に是非、未来ある林業に入ってもらい高性能林業機械の操作を覚え守り立ててもらいたいと思っています。最後に自分はどうな仕事も楽しい仕事はないと思っています。今の自分はこの仕事に誇りを持って毎日、楽しく仕事をしていて林業に感謝しています。



利根沼田森林組合

小川 政樹

一 趣味

登山・沢登り・山菜採り・野草採り

二 今後の抱負

安全な森林施業を心掛け、仕事に支障を来すような事故と怪我だけは絶対にしないよう頑張りたいと思えます。



片品村森林組合

笠原 雅昭

一 趣味

野球、スキー、ゴルフ

二 今後の抱負

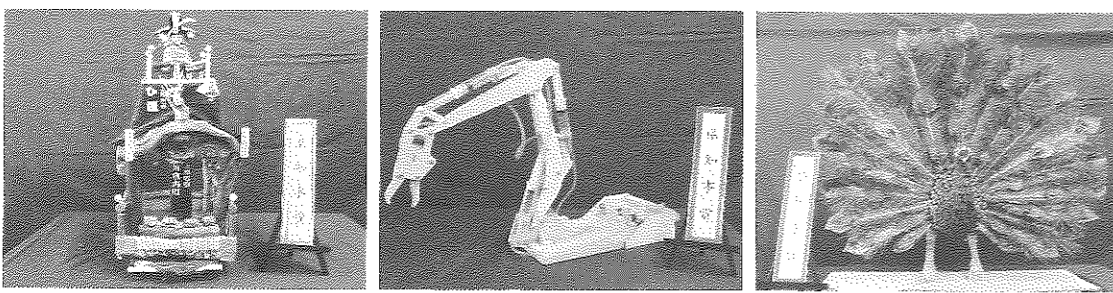
明るく楽しく笑顔で頑張りたい。いつかは自分も機械のように高性能になる(予定)



森の談話室

普及コーナー

子どもたちに「木材の良さ」を知ってもらうために、木工工作コンクールを開催しました。
群馬県知事賞受賞作品は次の3点です。



「わたしがのったまんど」
沼田市立沼田小学校
根立 美咲(3年)

「グラッブルショベルカー」
高崎市立八幡小学校
滝川 琥舜(4年)

「孔雀」
富岡市立西中学校
横尾 翼(2年)

◆11月3日(火)～7(土)まで群馬県庁1階県民ホールにて展示が行われました。

第四十回 群馬県児童生徒木工工作コンクール



最優秀賞(林野庁長官賞)受賞関係者の皆さん

優秀賞	最優秀賞
局長賞 関東森林管理局	群馬県知事賞 林野庁長官賞 群馬県知事賞
青森 裕一	磯村産業株式会社 平形 亀三郎
	利根沼田森林組合

県内各地から生産される優良素材を展示することで、需要動向に応じた良質素材の出荷奨励・生産技術の向上を図り、本県林業の発展に寄与することを目的とした群馬県主催の展示会が開催され、十二月三日に群馬県森林組合連合会が入賞者の表彰式が行われました。最優秀賞・優秀賞は次の方々でした。

第四十六回 群馬県優良素材展示会

群馬県農林水産業関係機関成果発表会
群馬県農林水産業関係機関による最新の研究や普及活動についての発表会を行います。
林業分科会では、きのこ栽培技術の研究成果をはじめ、普及活動、獣害対策、種苗・木材に関する研究成果をご紹介します。また、県民ホールにてパネル展示を行います。
日時：平成二十八年二月二日(火)
午前十時～午後四時
場所：県庁二十八階(林業分科会)
問い合わせ先：林業振興課きのこ普及室
TEL 027・226・3235

きのこ品評会
群馬県産きのこの品評会を開催します。二日間の日程で審査(二十六日)、表彰式・展示品の即売・きのこ汁の試食(二十七日)が行われます。即売日には厳選されたきのこをお買い求め頂けますので、是非足をお運び下さい。
日程：平成二十八年一月二十六日(火) 二十七日(水)
場所：群馬県庁一階 県民ホール北側
問い合わせ先：林業振興課きのこ普及室
TEL 027・226・3234

お知らせ

地元材の活用と技術の伝承 林すみやきの里

今回は長野原町林地区で木炭の生産と技術の継承を行っている「林すみやきの里」を紹介いたします。

林すみやきの里は、平成六年に現在の代表である篠原さんが地元の有志の方々で設立したものです。設立当時の構成員は十三人いましたが、現在は九名となっているそうです。主な活動内容は、地元材を使用して木炭の生産・販売と、炭焼技術を後世に伝えるため、炭焼き体験等の受け入れを行っています。活動拠点としての作業所は、以前は炭窯が2基ありましたが、八ッ場ダム関連で移転をし、現在の作業所へは昨年度移転し、黒炭窯1基で活動しています。これからは、白炭



代表者と現在の作業所

も焼いてみようという計画し、白炭窯を築窯中です。

木炭の生産として、年間4～5回くらい焼いていて、焼いた炭は、地元直売所や研修施設及び口コミ等で販売しており、また、最近では建築用としての問い合わせもあり、生産が間に合わない状況もあるとのことです。

炭焼き体験等の受け入れについては、福祉作業所の炭焼体験や地元小学校の体験教室の指導を実施しました。また、ダム関連で上下



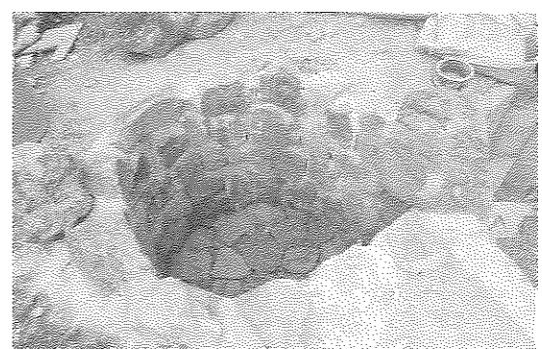
視察者の受け入れ



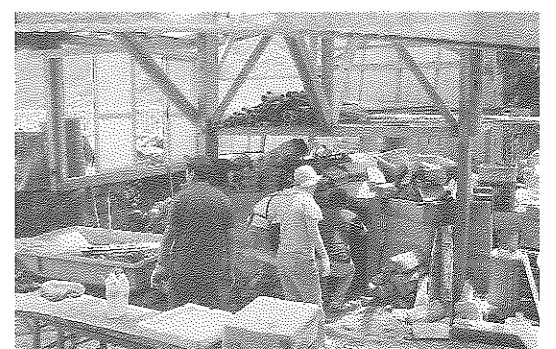
移転前の作業所での炭焼体験

交流事業の炭焼体験の受け入れも行っていきます。地区外からの視察にも、問い合わせがあれば、積極的に受け入れを行います。

篠原さんは、昔から日本で使われていた木炭についてもっと知ってもらい、また、使うて貰うことにより、間接的ではあるが、多少なりともは環境の保全にも役立つので、これからも活動を続けたいと話していました。
(吾妻環境森林事務所通信員)



築窯中の白炭窯



福祉作業所の炭焼体験

トピックス

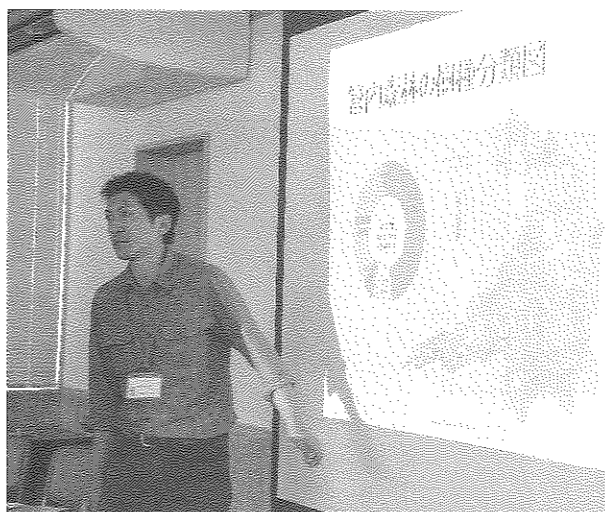
ぐんまの林業見学ツアー

森林施業プランナー

浦部秀一郎氏と学ぼう

平成27年9月14日(月)

群馬県では、主に首都圏の若年女性に森林への興味を持ってもらい、本県への移住・林業就業へ繋げるために平成27年9月14日(月)に標記ツアーを実施しました。
定員二十名に対し参加者は16名(うち女性12名)で、大学生が多く、社会人もいました。参加しやすいように集合・解散場所を新宿駅とし、バスで送迎しました。



浦部講師の講義

ランチミーティング

まず、多野東部森林組合(藤岡市藤岡)の会議室で開会式と自己紹介を行いました。昼食に群馬の名物登利平の「鳥めし弁当」を食べながら、多野東部森林組合の参事であり認定森林施業プランナーでもある浦部講師による「多野東部森林組合の集約化施業の取組」という講義を聞いてもらいました。



説明をする浦部講師

素材生産現場見学

次に、集約化施業を行っている現場(藤岡市三波川)に案内しました。浦部講師の解説のもと、森林作業道の作設やハーベスタによる作業、そして世界伐木チャンピオンシップに出場した今井陽樹さんの伐木作業を見てもうりました。一通り見学した後は、現場作業員の皆さんとの質疑応答。実際にチェーンソーを持ってもらったところ、想像以上の重さに驚いていました。貴重な体験が出来たのではないかと思います。



見慣れないチェーンソーに興味津々の参加者

トピックス

製材工場見学

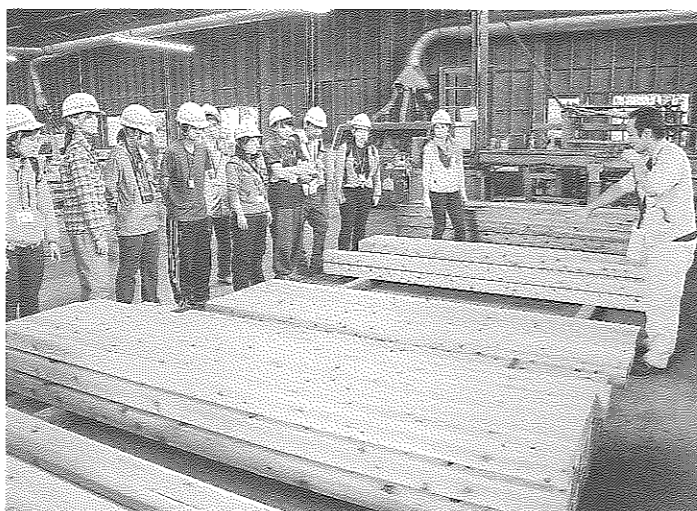
次に、県産材加工協同組合第一工場(藤岡市浄法寺)に案内しました。同組合第4事業部統括部長 坂本健一氏が講師を務め、山で伐った木はどのようにして製材加工されるのか、流れに沿って見学してもらいました。乾燥前の材と乾燥後の材では、重さが全然違うということを実際に持ち上げて体感してもらいました。(写真参照)



工場内では、一つ一つの機械の処理能力の速さに驚いたようで、機械に関する質問が多く寄せられていました。

ブレイクタイム

その後、多野東部森林組合に戻りお茶と群馬の銘菓でブレイクタイム。講師としてお招きした上野村森林組合 技術員 今井舞氏のUターンの話や群馬県林業労働力確保支援センターの田村さんの話を聞いたり、質疑応答や見学の感想を共有しあったりと有意義な時間を過ごすことができました。



坂本講師と参加者

以上のプログラムを終えて、参加者は帰路につきましました。車内でマイクを回して全員に感想を求めたところ「林業ってカッコいい」

「女性中心で参加しやすかった」との発言もありました。新宿駅に着くまで映画「Wood Job」を観てもらったのですが、初めての体験に疲れたのか寝ている方が大半でした。女性も林業の世界で活躍できる環境が整ってきています。群馬県でも男女問わず活躍する方が増えていくように林業の魅力発信・普及に取り組んで参ります。

最後に、本ツアーにご協力いただいた講師をはじめ見学先・スタッフの方々にこの場を借りて感謝申し上げます。(林業振興課)



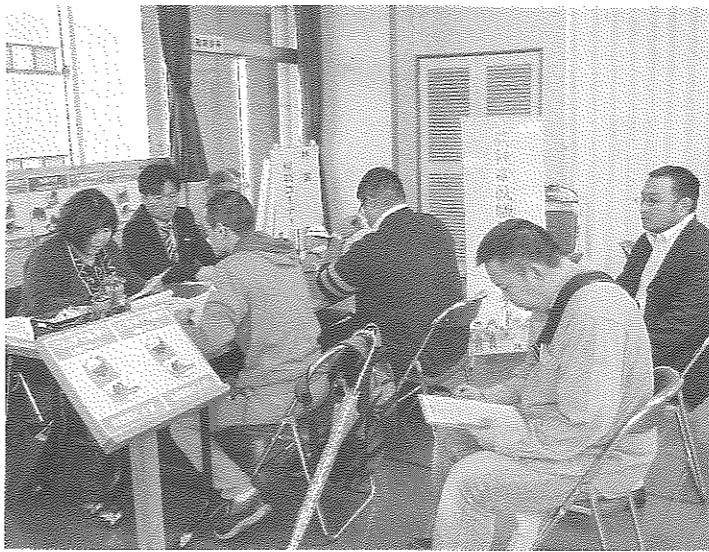
集合写真

トピックス

農林業就職面接・相談会

平成二十七年十一月十八日に高崎市労使会館において、平成二十七年年度農林業就職面接・相談会が開催されました。

群馬県の農林業就業者数は、平成十七年の国勢調査では約六万六千人でしたが、平成二十二年の国勢調査では約五万二千人となり、約二十二%も減少しています。また、就業者の高齢化や後継者不足対策も喫緊の課題となっています。



このような状況の中、新規学校卒業者と一般求職者を対象とし、農林業への就業の機会を提供し、就職等の促進を図るため、県内の農林業関係十七事業所の参加により実施されました。

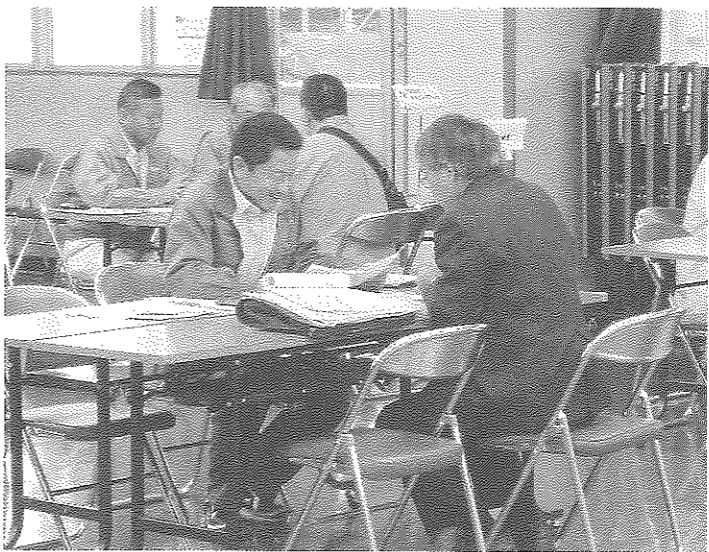
また、今回は農業・畜産・林業の就業相談部門の充実が図られ、「相談会」として情報収集に立ち寄られる方の姿も見受けられました。



会場が高崎駅から近かったためか、県外からの相談者も来場し、林業ブームには昨年度に比べ、たくさんの方が相談に訪れました。

参加した林業事業者の面接受応者からも「じっくりとお話をさせていただく貴重な機会をいただいた。たいへん熱心な方ばかりで驚いた。林業就業に必要な資格をお持ちの方も多く、採用に向けて前向きに検討したい。」という声が聞かれました。

(林業就業支援地域アドバイザー 田村美恵子)



森林・緑整備基金だより

分収林の利用間伐について

基金では、平成二十六年三月に策定した「分収林の管理・経営方針(新たな施業指針)」に基づき、車両系機械による素材生産システムを原則として、効率的・合理的な利用間伐を進めています。



藤岡市「法久」社営林

利用間伐の特徴は、

一 強度間伐

本数間伐率四〇〜五〇%で、最終間伐後の立木密度 スギ五〇〇〜六〇〇本/ha、ヒノキ六〇〇〜七〇〇本/haを目標

二 効率的な間伐

路網密度鈴当り二百五十ha程度を目標に、高性能林業機械を活用し、A材からD材まで全てを販売する間伐を実施しています。



下仁田町「高岩」社営林(二回目の列状間伐)

平成二十六、七年度で、利用間伐百十二ha、作業道開設一万五千四百mを実施し、素材売払い収益二千三百万円余を見込んでいます。

基金では、「林業公社の二の舞にならない」を基本方針に、また、「おっー良い山になったね」と言われるような山づくりを目標に、今後も適切な分収林の管理と経営の合理化に努めて参りますので、皆様方の変わらぬご指導とご協力をお願い申し上げます。



中之条町「塩原」社営林